

# 六日小だより

創立 97周年

令和4年 7月1日

荒川区立第六日暮里小学校

令和4年度 第4号

発行者 島 埜 秀 男



## 「学級目標」は学校生活向上の判断基準

校長 島埜 秀男

記録的に短い梅雨が終わり、気が付いてみると7月に入り1学期も終わろうとしています。月日の流れるのは、早いものです。だからこそ目標をもって1日1日を大切に過ごすことが大切であることはよく言われることです。

そのために本校では、6年間で育てたい児童の姿である「学校教育目標」をふまえて現状の

自分たちを振り返り、担任の願い、児童の願いをもとに「学級目標」を決めます。

しかし、六日小では、保護者の思いや願いをここにこめることが必要であると考えています。児童は、学校だけで成長するわけではありません。最も身近な家庭が基盤なのです。

そこで、今年度で4年目になりますが、保護者の皆様にアンケートにご協力をいただき、学級目標を決める話し合いをする

令和4年度 学年・学級目標	
学校教育目標	年 学年目標(学級目標)
 心豊かな子供 進んで学ぶ子供 元気な子供	1 よいはなをさかせよう (よくかんがえる、いっしょうけんめいがんばる、ほほしをきく、なかよくして きょうりょくする)
	2 たすけ合い みんなでなかよく 楽しいクラス いっしょふみだせ 2年生 3名人にといくみ 学校生かつをがんばろう
	3 助け合い よろこびを 分かち合えるクラス
	4 みんなで課題をとっぴして高学年へ ふみ出そう ～協力 だん結 最後まで～
	5 5GOALS ～けじめ・挑戦・協力・自考動・思いやり～
	6 みんなちがって みんないい 元気に楽しくチャレンジ! ～B(学び)T(助け合い)S(責任・スマイル)～

際に「保護者がどんな子やクラスになってほしいかの願い」を示しています(アンケート回収率全体78%昨年より3ポイントアップしました。)児童はその思いを受け止め学級目標を決めます。実は、保護者と児童の考えは一致していることが多いものです。今年度は以下のとおりになりました。

	児童数	家庭数	学級目標回収数	回収率
1年1組	23	23	17	74%
2年1組	28	28	22	79%
3年1組	28	26	24	86%
4年1組	33	25	26	79%
5年1組	29	19	18	62%
6年1組	33	17	28	85%
学校全体	174	138	135	78%

この学級目標は、学級経営の根幹となり、学校の全教育活動は、学級にとっては、この学級目標達成のためにあります。

自分たちの取組を判断する基準にもなっているのです。常に自分自身や学級集団の成長確認するための重要な役割を果たしています。

保護者の皆様にお願ひがあります。この学級目標を家庭生活でも意識してご指導ください。教師・保護者・児童3者の願ひが込められた学級目標は、家庭と学校が一貫して指導するものと捉えると児童は迷うことなく成長できると

考えています。ご理解とご協力をお願いします。

# 夏休みのくらしについて

生活指導主任

黒澤 絵理



子供たちが楽しみにしている夏休みが7月21日から始まります。

42日間、家庭中心の生活を送ることになります。子供たちは、自由な時間を主体的に生活し、じっくりと時間をかけた挑戦ができたり、普段気付けなかったことに気付いたり・・・と大きく成長できる期間です。自主的に過ごし、有意義で安全な夏休みであってほしいと願っています。

しかし、子供たちだけで過ごす時間が長くなることは心配でもあります。さらに、不審者など不安な出来事も相次いで発生しています。学級、学校でも指導をしていますが、「ゲームやテレビの時間を守る」「学校と同じリズムで生活する」「学区域外へ子供だけで行かない」「出かけるときは自分の居場所や帰宅時間を家の人に伝える」といったことなどを確認し、ご家庭でもご指導をよろしくお願い申し上げます。

引き続き、熱中症対策、感染予防対策に気を付けながら、健康で、充実した夏休みを過ごせますよう、よろしくお願いいたします。

<夏休みのくらし>

1. 規則正しい生活をしましょう。
2. 事故のない生活をしましょう。
3. 気を付けて遊びましょう。
4. 学校に知らせましょう。

事故が起きた時、大きな病気になった時などは、学校に知らせてください。

<7月の行事予定> \*(寺):寺子屋(放課後学習)

月	火	水	木	金	土
				7/1 水道キャラバン (4年)	2 土曜授業 道徳授業地区公開講座 全学年 11:45下校
4 (寺) 全校朝会 委員会	5 (寺) 保護者会 123年14:00~ 456年15:00~ 4年下田臨海学園説明会	6 4時間授業 全学年	7 安全指導 下田事前検診	8 避難訓練 (集団下校)	10
11 (寺) 全校朝会 下田移動教室始 (6年)	12 (寺)	13 (寺) 下田移動教室終 (6年)	14 (寺) 美化活動 (5校時)	15 4時間授業 全学年 13:30下校	16
18 海の日	19 全校朝会 給食終 全学年 13:30下校	20 終業式 大掃除 全学年 11:45下校	21 夏季休業日始 夏季プール① (高・中学年)	22 夏季プール② (中・低学年)	23
25 夏季プール③ (高・低学年)	26 夏季プール④ (中・高学年)	27 夏季プール⑤ (中・低学年)	28 夏季プール⑥ (高・低学年)	29 夏季プール⑦ (高・中学年)	30

本校では、年三回のさわやかチャレンジカードを実施しています。日常生活を振り返り、改善する機会とするためです。毎回ご協力をいただきありがとうございます。本来全員提出が原則ですが、以下が今年度の回収率です。未提出は未達成としてカウントしています。今後9月・1月とありますのでよろしくお願い致します。

令和4年度 さわやかチャレンジカード集計結果 昨年度1月と今年度5月・9月・1月の比較(同一集団経年)

調査項目	時期	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		学校平均
		達成数	達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	
きめた時間に起床する 【時 分】	昨年			26	92.9	22	78.6	29	87.9	20	69.0	29	87.9	83.2
	5月	18	78.3	26	92.9	22	78.6	28	84.8	26	89.7	26	78.8	83.8
	9月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
朝食を食べた	昨年			28	100.0	26	92.9	30	90.9	23	79.3	32	97.0	76.7
	5月	20	87.0	27	96.4	23	82.1	31	93.9	28	96.6	28	84.8	90.1
	9月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
歯をみがいた	昨年			29	100.0	22	78.6	30	93.8	23	79.3	30	90.9	88.5
	5月	20	87.0	27	96.4	23	71.9	32	97.0	26	78.8	28	84.8	86.0
	9月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
あいさつを元気よくした	昨年			24	85.7	26	92.9	30	90.9	23	79.3	31	93.9	88.5
	5月	19	82.6	27	96.4	22	78.6	31	93.9	27	93.1	28	84.8	88.3
	9月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
手洗いをした	昨年			28	100.0	25	89.3	30	90.9	23	79.3	33	100.0	91.9
	5月	21	91.3	27	96.4	22	78.6	32	97.0	28	96.6	28	84.8	90.8
	9月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
時間をきめて宿題や家庭学習をした(寺子屋の学習も含む)学習時間の合計	昨年			25	89.3	25	89.3	28	84.8	19	65.5	27	81.8	82.2
	5月	21	91.3	24	85.7	20	71.4	26	78.8	27	93.1	25	75.8	82.7
	9月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
ていねいな文字を書いた	昨年			26	92.9	23	82.1	26	78.8	20	69.0	29	87.9	82.1
	5月	21	91.3	25	89.3	19	67.9	27	81.8	27	93.1	24	72.7	82.7
	9月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
学校・家庭・地域でくつ揃えができた	昨年			19	67.9	20	62.5	23	69.7	28	82.4	24	72.7	71.0
	5月	16	69.6	24	85.7	17	60.7	26	78.8	26	89.7	25	75.8	76.7
	9月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
家で読書をした。	昨年			15	53.6	22	78.6	23	69.7	11	37.9	18	54.5	58.9
	5月	13	56.5	22	75.9	14	50.0	19	57.6	19	65.5	20	60.6	61.0
	9月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
テレビやゲームの時間を守った(1日1時間まで)	昨年			24	85.7	19	67.9	20	60.6	13	44.8	22	66.7	65.1
	5月	15	65.2	21	72.4	14	50.0	19	57.6	22	75.9	17	51.5	62.1
	9月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
決めた時刻に寝た。【時 分】	昨年			22	78.6	19	67.9	26	78.8	15	51.7	22	66.7	68.7
	5月	15	65.2	25	86.2	19	67.9	23	69.7	22	75.9	21	63.6	71.4
	9月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
全項目の平均	昨年				86.0		80.0		81.5		67.0		81.8	79.3
	5月		78.7		88.5		68.9		81.0		86.2		74.4	79.6
	9月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0
		1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		

学期ごとに実施しているさわやかチャレンジの集計結果です。規則正しい生活習慣は、児童が、学校で生き生きと活動するために必要なことです。また、学力向上の重要な要素のひとつでもあります。昨年の1月と今年度の5月・9月・1月を比較していきます。

昨年度同様全学年とも寝る時間については課題がありますが、少し改善傾向が見られます。寝る時間が遅くなると起きる時間も守られない傾向がみられる。また、「時間を決めてTV・ゲームをした」もまだ数値が低くなっています。これは、密接な関連があると思われます。家庭に帰ってからの限られた時間を計画的に過ごすことができるように指導していきます。ご家庭ではSNS学校ルールから具体的な家庭ルールを決めて子供たちの環境づくりをしていくことが必要になっています。

学校では、靴ぞろえについては、学校では、90%以上まで向上していますが、家庭や地域ではまだ不十分であることが分かります。あいさつについても同様です。学校だけでなく家庭や地域でも実践できてはじめて習慣として身に付いたと言えます。家庭・地域でも学校と同様の指導をすることが児童の習慣化につながります。

家庭での読書量の減少も課題の一つです。少し向上しましたが今後も読書の質の向上も図っていきます。多くの本との出会いは、豊かな心を育むとともに表現力も豊かにします。学校では「隙間読書」を推進しています。常に読む本が手元にあるようにしています。

荒川区では「家読うちどく」を推進しています。家庭では読書タイムを設定してみんなで読書をするのも一つの方法ではないかと思います。また、本校では、毎日家庭学習をすること、時間のめやすは、「15分×学年＋読書」となっております。家庭で学習することは、学習の定着に欠かせないことです。あわせて読書を少しでも取り組めるようご協力のほどお願いします。

学習習慣や生活習慣を身に付けるための指導のポイントはなぜ、その習慣が要なのかを理解させ、大人が実践することが大事です。また、できない事を注意するよりもできていることを見逃さずにほめることです。学校・家庭・地域で共通理解のもと取り組んでいきたいことです。

#### 令和4年度 5月さわやかチャレンジカード回収率

児童数	5月さわやか チャレンジ 回収数	回収率	保護者 コメン ト数	保護者 コメント率
23	21	91%	21	100%
28	27	96%	27	100%
28	23	82%	23	100%
33	32	97%	32	100%
29	28	97%	28	100%
33	27	82%	24	89%
174	158	91%	155	98%

さわやかチャレンジだけで生活の改善が図れるわけではありません。しかしこの期間、子供たちも保護者も意識して過ごすことにより課題に気付くことに大きな意味があります。

提出していただいたアンケートにはほとんど保護者からのコメントが記入されています。がんばったことを褒めると同時に課題の確認をしてくださっているものが多かったです。ありがとうございます。

これからの生活向上につながる声掛けを家庭でも学校でも同様にすることで落ち着いた安定した生活習慣が生まれます。それは、学力向上の第一歩でもあります。